

【資料】船城稔美 全作品リスト

※水色の網掛けは木村哲也 編『どこかの遠い友に：船城稔美詩集』（柏書房、2025年7月）に収録した作品である

No	書名	号数	発行所	刊行年月	著者名	分類	表題	選者	備考
1	山櫻	第20巻第11号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1938年11月	沼尾みのる	詩	「想ひ」	佐藤信重	
2	山櫻	第21巻第5号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1939年5月	沼尾みのる	詩	「或る日の外科場」	佐藤信重	
3	山櫻	第22巻第1号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1940年1月	沼尾みのる	詩	「別れた人」	佐藤信重	
4	山櫻	第23巻第3号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1941年3月	沼尾みのる	詩	「雪の夜」	佐藤信重	
5	山櫻	第23巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1941年7月	沼尾みのる	詩	「故郷の匂ひ」	佐藤信重	
6	山櫻	第24巻第12号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1942年12月	沼尾みのる	詩	「故郷の花によす」	佐藤信重	
7	山櫻	第25巻第1号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1943年1月	沼尾みのる	詩	「菊」	自選	新旦自選
8	山櫻	第25巻第3号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1943年3月	沼尾みのる	詩	「一人しづか」	佐藤信重	
9	山櫻	第25巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1943年7月	沼尾みのる	詩	「空はいぶし銀」	自選	初夏自選詩
10	山櫻	第26巻第2号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1944年2月	沼尾みのる	詩	「落葉林にて」	佐藤信重	
11	山櫻	第26巻第6号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1944年6月	沼尾みのる	詩	「母に捧ぐる（久々に母面会に来る）」	佐藤信重	
12	山櫻	第30巻第5号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年6月	船城稔美	詩	「五月」		船木（ママ）
13	山櫻	第30巻第6号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年7月	船城稔美	詩	「ウイツチが私を迎ひにくる」		
14	山櫻	第30巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年8月	船城稔美	詩	「夜」		
15	山櫻	第30巻第8号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年9月	船城稔美	詩	「別れの詩」		
16	山櫻	第30巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年11月	船城稔美	詩	「子供たち」	神保光太郎	「佳作」
17	山櫻	第30巻第10号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1949年12月	船城稔美	詩	「あてない文字なればとも」		創立四十周年文芸特集号
18	山櫻	第31巻第1号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年1月	船城稔美	詩	「この世に詩がありました」		
19	山櫻	第31巻第2号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年2月	船城稔美	詩	「沈丁花に寄せて」		
20	全生文芸協会編 『癡者の魂』		白鳳書院	1950年2月	船城稔美	詩	「子供たち」		『山櫻』第30巻第9号、1949年11月からの転載
21	山櫻	第31巻第3号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年3月	船城稔美	詩	「こぬか雨」		
22	山櫻	第31巻第4号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年4月	船城稔美	詩	「幻想雜祭り」		
23	山櫻	第31巻第6号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年6月	船城稔美	詩	「愛情」	神保光太郎	
24	山櫻	第31巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年7月	船城稔美	詩	「こぶしの花に寄せて」	神保光太郎	
25	山櫻	第31巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年9月	船城稔美	短歌	（短歌）	五味保義	
26	山櫻	第31巻第10号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年10月	船城稔美	短歌	（短歌）	五味保義	
27	山櫻	第31巻第12号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年12月	船城稔美	短歌	（短歌）	五味保義	
28	山櫻	第31巻第12号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1950年12月	船城稔美	俳句	（俳句）	俳小星	選者「俳小星」は多磨全生園入所者「斎藤俳小星」
29	灯泥	創刊号	灯泥会	1950年12月	船城稔美	詩	「女」		
30	灯泥	創刊号	灯泥会	1950年12月	船城稔美	詩	「可能と限界」		
31	灯泥	創刊号	灯泥会	1950年12月	船城稔美	詩	「花の死」		
32	灯泥	第4号	灯泥会	1951年2月	船城稔美	詩	「誰だろう」		
33	灯泥	第4号	灯泥会	1951年2月	船城稔美	詩	「・・・マニア」		
34	山櫻	第32巻第3号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年3月	船城稔美	詩	「冬の夜」	神保光太郎	
35	灯泥	第5号	灯泥会	1951年4月	船城稔美	詩	「傷心」		
36	灯泥	第5号	灯泥会	1951年4月	船城稔美	詩	「気流」		
37	山櫻	第32巻第5号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年5月	船城稔美	詩	「夜の哀愁」	神保光太郎	
38	山櫻	第32巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年7月	船城稔美	短歌	（奉悼歌）		貞明皇太后追悼
39	山櫻	第32巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年7月	船城稔美	俳句	（奉悼句）		貞明皇太后追悼
40	山櫻	第32巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年7月	船城稔美	詩	「春の雨」	神保光太郎	
41	灯泥	第8号	灯泥会	1951年7月	船城稔美	詩	「無精卵」		
42	灯泥	第8号	灯泥会	1951年7月	船城稔美	散文	「ピッチング・ローリング」		
43	山櫻	第32巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年9月	船城稔美	詩	「迷ひ」	神保光太郎	
44	山櫻	第32巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年9月	船城稔美	詩	「ベルシャの涙」	神保光太郎	
45	山櫻	第32巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年9月	船城稔美	詩	「噴火口」	神保光太郎	

46	灯泥	第9号	灯泥会	1951年9月	船城稔美	詩	「消えず」		
47	山櫻	第32巻第11号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1951年11月	船城稔美	詩	「虫」	神保光太郎	
48	灯泥	第10号	灯泥会	1951年12月	船城稔美	詩	「棘のある風景」		
49	灯泥	第10号	灯泥会	1951年12月	船城稔美	詩	「海」		
50	山櫻	第33巻第4号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年4月	船城稔美	詩	「小路」	神保光太郎	
51	山櫻	第33巻第5号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年5月	船城稔美	詩	「堆積」	神保光太郎	筆頭詩
52	山櫻	第33巻第6号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年6月	船城稔美	詩	「早春讃歌」	神保光太郎	
53	山櫻	第33巻第7号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年7月	船城稔美	詩	「鏡」	神保光太郎	
54	山櫻	第33巻第8号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年8月	船城稔美	詩	「六月に」	神保光太郎	
55	山櫻	第33巻第9号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年9月	船城稔美	詩	「陥穽」	神保光太郎	
56	山櫻	第33巻第10号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年10月	船城稔美	詩	「気配」	自選集	
57	多磨	第33巻第12号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1952年12月	船城稔美	詩	「或る抵抗」	神保光太郎	
58	多磨	第34巻第1号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1953年1月	船城稔美	詩	「対決」		
59	多磨	第34巻第2号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1953年2月	船城稔美	詩	「足音」		
60	多磨	第34巻第3号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1953年3月	船城稔美	詩	「冬景」		
61	多磨	第34巻第4号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1953年4月	船城稔美	詩	「冬景」		
62	大江満雄編 『いのちの芽』		三一書房	1953年4月	船城稔美	詩	「私の祖国は蜂の巣のように」		原題「棘のある風景」『灯泥』第10号、1951年12月改作
63	大江満雄編 『いのちの芽』		三一書房	1953年4月	船城稔美	詩	「不安」		原題「ウイツチが私を迎ひにくる」『山櫻』第30巻第6号、1949年7月改作
64	大江満雄編 『いのちの芽』		三一書房	1953年4月	船城稔美	詩	「陥穽」		『山櫻』第33巻第9号、1952年9月初出
65	大江満雄編 『いのちの芽』		三一書房	1953年4月	船城稔美	詩	「堆積」		『山櫻』第33巻第5号、1952年5月初出
66	大江満雄編 『いのちの芽』		三一書房	1953年4月	船城稔美	詩	「対決」		『多磨』第34巻第01号、1953年1月初出
67	多磨	第34巻第5号	財団法人全生互恵会山櫻出版部	1953年5月	船城稔美	詩	「死への讃歌」		
68	多磨	第34巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1953年6月	船城稔美	詩	「希求」		
69	多磨	第34巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1953年7月	船城稔美	詩	「友よ」		
70	広場	第4号	広場の会	1953年7月	船城稔美	詩	「混血児たちよ」		
71	多磨	第34巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1953年10月	船城稔美	詩	「反抗」		
72	石器	創刊号	国立療養所詩人連盟	1953年10月	船城稔美	詩	「バンバン、ニツボン」		
73	広場	第6号	広場の会	1953年10月	船木稔美	詩	「スタート・ライ予防法反対陳情団に加わって」		船木（ママ）
74	広場	第6号	広場の会	1953年10月	船木稔美	散文	「良書案内・堀田善衛『広場の孤独』中央公論社」		船木（ママ）
75	多磨	第34巻第11号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1953年11月	船城稔美	詩	「スタート・ライ予防法反対運動陳情団に参加して」	大江満雄	『広場』第6号、1953年10月初出。文芸特集号「入選Aの四」
76	日本ヒューマニズム詩集編集委員会編『日本ヒューマニズム詩集』第2集：1953年版		三一書房	1953年11月	船城稔美	詩	「私の祖国は蜂の巣のように」		『いのちの芽』から転載
77	多磨	第34巻第12号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1953年12月	船城稔美	詩	「或る書翰」	藤原定	
78	石器	第2号	国立療養所詩人連盟	1953年12月	船城稔美	詩	「たそがれ」		
79	広場	第8号	広場の会	1953年12月	船城稔美	詩	「戴冠式」		
80	多磨	第35巻第1号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年1月	船城稔美	詩	「戴冠式」	藤原定	『広場』第8号、1953年12月初出
81	多磨	第35巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年2月	船城稔美	詩	「松の古木よ」	藤原定	
82	多磨	第35巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年2月	船城稔美	詩	「傷あと」	藤原定	
83	多磨	第35巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年4月	船城稔美	詩	「植民地の詩（うた）」	藤原定	筆頭詩／「うた」はルビ

84	広場	第10号	広場の会	1954年4月	船城稔美	詩	「別れ」		
85	広場	第11号	広場の会	1954年5月	船城稔美	詩	「旅路に」		
86	多磨	第35巻第5号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年5月	船城稔美	詩	「三月」	藤原定	
87	多磨	第35巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年6月	船城稔美	詩	「消失の日々」	藤原定	
88	多磨	第35巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年7月	船城稔美	詩	「嵐への断章」	藤原定	
89	多磨	第35巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年8月	船城稔美	詩	「あまりにも寓話的な」	藤原定	筆頭詩
90	多磨	第35巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年8月	船城稔美	詩	「梅雨空に詩う」	藤原定	
91	多磨	第35巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年9月	船城稔美	詩	「白バラ」	藤原定	筆頭詩
92	多磨	第35巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年9月	船城稔美	詩	「黄色い小人のなげき」	藤原定	
93	多磨	第35巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年9月	船城稔美	散文	「藤原定先生をお迎えして」		
94	多磨	第35巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年10月	船城稔美	詩	「雑木林にて」	藤原定	
95	多磨	第35巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年10月	船城稔美	詩	「餘花」	藤原定	
96	戸伊摩	第特別記念号	東北新生園	1954年10月	ふなきとしみ	詩	「盲導鈴」	高橋たか子	開園十五周年記念文芸募集作「佳作」
97	多磨	第35巻第11.12号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1954年12月	船城稔美	詩	「人間誕生」	藤原定	筆頭詩 文芸特集号「入選」
98	楓	第8巻第12号	邑久光明園慰安会	1954年12月	船越稔美	詩	「雑木林にて」	永瀬清子	船越（ママ）。邑久光明園創立四十五周年記念文芸特集号「佳作」
99	楓	第8巻第12号	邑久光明園慰安会	1954年12月	船越稔美	詩	「季節に乗って」	永瀬清子	船越（ママ）。邑久光明園創立四十五周年記念文芸特集号「佳作」
100	広場	第15号	広場の会	1954年12月	船城稔美	詩	「交媒」		
101	多磨	第36巻第1号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年1月	船城稔美	詩	「花のアラベスク」	藤原定	筆頭詩
102	高原	第10巻第2号	栗生楽泉園文化部	1955年2月	船城稔美	詩	「一日の終りに」	大江満雄	文芸作品集「入選（B）」
103	多磨	第36巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年2月	船城稔美	詩	「らんの詩」	藤原定	筆頭詩
104	多磨	第36巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年2月	船城稔美	詩	「希求」	藤原定	
105	多磨	第36巻第3号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年3月	船城稔美	詩	「泥酔の詩」	藤原定	
106	青松	第12巻第3号	大島青松園入園者協和会	1955年3月	船城稔美	詩	「交媒」	大江満雄	『広場』第15号、1954年12月初出
107	多磨	第36巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年4月	船城稔美	詩	「巷にて」	藤原定	筆頭詩
108	多磨	第36巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年4月	船城稔美	詩	「あしおと」	藤原定	
109	多磨	第36巻第5号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年5月	船城稔美	詩	「鎖」	藤原定	筆頭詩
110	多磨	第36巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年6月	船城稔美	詩	「ノスタルジア」	藤原定	
111	多磨	第36巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年6月	船城稔美	詩	「乾燥期」	藤原定	
112	多磨	第36巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年7月	船城稔美	詩	「プラットホーム」	藤原定	筆頭詩
113	多磨	第36巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年7月	船城稔美	詩	「もう一度素朴になれるかも知れない」	藤原定	
114	多磨	第36巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年8月	船城稔美	散文	「私たちの映画評・モダンタイムス ある對話」		
115	多磨	第36巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年8月	船城稔美	詩	「なげき」	藤原定	
116	多磨	第36巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年8月	船城稔美	詩	「季節」	藤原定	筆頭詩
117	芙蓉	第8巻第5号	駿河療養所後援会	1955年10月	船城稔美	詩	「郷愁」	大江満雄	
118	多磨	第36巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年10月	船城稔美	詩	「たそがれ」	藤原定	
119	多磨	第36巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年10月	船城稔美	詩	「かきのある風景」	藤原定	
120	高原	第10巻第11号	栗生楽泉園文化部	1955年11月	船城稔美	詩	「桐の花」	大江満雄	全国文芸特集「入選（B）」
121	始良野	第8巻第11号	星塚敬愛園始良野編集部	1955年11月	船城稔美	詩	「鎖」	出海溪也	開園二十周年記念文芸特集号「佳作」
122	多磨	第36巻第11.12号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1955年12月	船城稔美	詩	「挽歌」	藤原定	文芸特集号「入選」
123	多磨	第37巻第1号 新年号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年1月	船城稔美	詩	「時間」	藤原定	
124	多磨	第37巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年2月	ふなきとしみ	詩	「音」	藤原定	
125	多磨	第37巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年2月	ふなきとしみ	詩	「時間」	藤原定	
126	多磨	第37巻第3号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年3月	船城稔美	詩	「枯れ葉」	藤原定	
127	多磨	第37巻第3号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年3月	ふなきとしみ	散文	「映画評・完璧な山田の演技」		
128	多磨	第37巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年4月	ふなきとしみ	詩	「夢の詩」	藤原定	筆頭詩
129	多磨	第37巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年4月	ふなきとしみ	詩	「焦燥」	藤原定	

130	多磨	第37巻第5号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年5月	ふなきとしみ	詩	「SOS」	藤原定	
131	多磨	第37巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年6月	船城稔美	詩	「ぶどうの芽から」	藤原定	
132	多磨	第37巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年7月	船城稔美	詩	「声」	三好豊一郎	
133	多磨	第37巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年9月	船城稔美	詩	「破倫」	三好豊一郎	
134	多磨	第37巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年10月	船城稔美	詩	「流れのある風景」	三好豊一郎	筆頭詩
135	菊池野	第6巻第6号	菊池恵楓園患者自治会	1956年10月	船城稔美	詩	「七月に」	丸山豊	自治会創立三十周年記念文芸特集号「佳作」
136	多磨	第37巻第12号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1956年12月	船城稔美	詩	「ベースボール」	藤原定	文芸特集号「入選」
137	多磨	第38巻第1号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年1月	船城稔美	詩	「季節」	三好豊一郎	
138	多磨	第38巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年4月	船城稔美	詩	「裸木」	三好豊一郎	
139	多磨	第38巻第5号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年5月	船城稔美	詩	「教会堂にて」	三好豊一郎	
140	多磨	第38巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年6月	船城稔美	詩	「ゆきずりの人に」	三好豊一郎	筆頭詩
141	多磨	第38巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年7月	船城稔美	詩	「三月」	三好豊一郎	筆頭詩
142	多磨	第38巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年8月	船城稔美	詩	「生意」	三好豊一郎	
143	多磨	第38巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年8月	船城稔美	散文	「研究会の夜に」		
144	多磨	第38巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年9月	船城稔美	散文	「恋愛とは？」		
145	多磨	第38巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年9月	船城稔美	詩	「私は氷になりたい」	三好豊一郎	
146	多磨	第38巻第10号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年10月	船城稔美	詩	「空腹の季節」	三好豊一郎	
147	楓	第20巻第11号	邑久光明園慰安会	1957年11月	船城稔美	詩	「春の詩」	永瀬清子	全国文芸特集号「佳作」
148	始良野	第10巻第11.12号	星塚敬愛園始良野編集部	1957年11月	船城稔美	詩	「五月の空に」	出海溪也	全国療養所文芸特集号「入選」
149	多磨	第38巻第12号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1957年12月	船城稔美	詩	「秋」	三好豊一郎	筆頭詩
150	多磨	第39巻第1号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年1月	船城稔美	詩	「吾亦紅」	三好豊一郎	
151	多磨	第39巻第1号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年1月	船城稔美	詩	「不和」		
152	多磨	第39巻第2号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年2月	船城稔美	詩	「瓦解」	三好豊一郎	
153	多磨	第39巻第3号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年3月	船城稔美	詩	「棘のある風景」	三好豊一郎	筆頭詩
154	多磨	第39巻第5号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年5月	船城稔美	詩	「ほんとうの…」	三好豊一郎	筆頭詩
155	多磨	第39巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1958年6月	船城稔美	詩	「お彼岸」	三好豊一郎	
156	多磨	第40巻第4号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1959年4月	船城稔美	詩	「ブラットホームにて」		
157	多磨	第40巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1959年6月	船城稔美	詩	「壁」		
158	多磨	第40巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1959年6月	船城稔美	散文	「伝説」		
159	多磨	第40巻第8号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1959年8月	船城稔美	詩	「愛のかたち」		「かたち」に傍点
160	多磨	第40巻第9号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1959年9月	船城稔美	詩	「反抗」		筆頭詩
161	甲田の楯	第30巻第10号	財団法人松丘保養園慰安会	1959年12月	船城稔美	詩	「ある風景」	鎌田喜八	全国文芸特集「佳作」
162	多磨	第41巻第3号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1960年3月	船城稔美	詩	「不毛」	三好豊一郎	文芸特集「入選」
163	菊池野	第9巻第12号	菊池恵楓園患者自治会	1960年3月	船城稔美	詩	「不思議な話」	谷川雁	文芸特集「佳作」
164	多磨	第41巻第7号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1960年7月	船城稔美	詩	「まひる」		筆頭詩
165	愛生	第14巻第10号	長島愛生園慰安会	1960年10月	船城稔美	詩	「まひる」	土橋治重	『多磨』第41巻第7号、1960年7月と同一作品。開園30周年記念文芸特集号「入選」
166	多磨	第41巻第11号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1960年11月	船城稔美	詩	「どこかの遠い友に」		筆頭詩
167	多磨	第42巻第6号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1961年6月	船城稔美	詩	「たそがれ」		唯一の詩
168	同人	創刊号	全生詩話会	1961年7月	船城稔美	詩	「ある風景」		
169	同人	創刊号	全生詩話会	1961年7月	船城稔美	詩	「もう一人の私が」		
170	新生	第13巻第4号	東北新生園慰安会	1961年9月	船城稔美	詩	「あまりにも植物的な」	高橋たか子	全国募集・楓会発会十五周年記念文芸特集「佳作」
171	多磨	第42巻第11号	財団法人全生互恵会多磨出版部	1961年11月	船城稔美	詩	「炎」	三好豊一郎	1961度文芸作品コンクール「佳作」
172	多磨	第43巻第12号	全生互恵会多磨出版部	1962年12月	船城稔美	詩	「不毛」		船城稔美作品集
173	多磨	第43巻第12号	全生互恵会多磨出版部	1962年12月	船城稔美	詩	「蛾」		船城稔美作品集
174	多磨	第43巻第12号	全生互恵会多磨出版部	1962年12月	船城稔美	詩	「東の国のまずしいクリスマス」		船城稔美作品集
175	多磨	第45巻第1号	全生互恵会多磨出版部	1964年1月	船城稔美	詩	「命あらたに」		唯一の詩
176	多磨	第46巻第3号	全生互恵会多磨出版部	1965年3月	船城稔美	詩	「座り込みの日に」	三好豊一郎	文芸特集「佳作」
177	多磨	第47巻第4号	全生互恵会多磨出版部	1966年4月	船城稔美	詩	「アメリカよ」		唯一の詩
178	多磨	第48巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1967年9月	船城稔美	詩	「七月の詩」		筆頭詩

179	多磨	第49巻第4号	全生互恵会多磨出版部	1968年4月	船城稔美	詩	「アメリカよ(その二)」		唯一の詩
180	多磨	第49巻第8号	全生互恵会多磨出版部	1968年8月	船城稔美	詩	「遠い「あなた」」		唯一の詩
181	多磨	第49巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1968年9月	船城稔美	詩	「往路」		
182	多磨	第50巻第1号	全生互恵会多磨出版部	1969年1月	船城稔美	詩	「会話(或るカメラマンに…)」		筆頭詩
183	多磨	第50巻第2号	全生互恵会多磨出版部	1969年2月	船城稔美	詩	「不毛」		唯一の詩
184	多磨	第50巻第4号	全生互恵会多磨出版部	1969年4月	船城稔美	詩	「埋没(またはカメラの世界)」		唯一の詩
185	多磨	第50巻第7号	全生互恵会多磨出版部	1969年7月	船城稔美	詩	「電話が切れた」		唯一の詩
186	多磨	第50巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1969年9月	船城稔美	詩	「きたるべきものに」		筆頭詩
187	多磨	第51巻第5号	全生互恵会多磨出版部	1970年5月	船城稔美	詩	「春のあしおと」		筆頭詩
188	多磨	第51巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1970年10月	船城稔美	詩	「炎が消える」		唯一の詩
189	多磨	第51巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1970年10月	船城稔美	散文	「身辺雑記(その一)」		
190	多磨	第52巻第4号	全生互恵会多磨出版部	1971年4月	船城稔美	散文	「身辺雑記(その二)」		
191	多磨	第54巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1973年9月	船城稔美	詩	「あらゆるものの挽歌(その一) 一若者たちに詫びる」		筆頭詩
192	多磨	第55巻第3号	全生互恵会多磨出版部	1974年3月	船城稔美	詩	「あらゆるものの挽歌(その二) 一風になりたい」		唯一の詩
193	多磨	第55巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1974年10月	船城稔美	詩	「炎」		唯一の詩
194	多磨	第56巻第8号	全生互恵会多磨出版部	1975年8月	船城稔美	詩	「舞台」		唯一の詩
195	多磨	第57巻第2号	全生互恵会多磨出版部	1976年2月	船城稔美	詩	「死にいそぎの記」		
196	多磨	第57巻第6号	全生互恵会多磨出版部	1976年6月	船城稔美	詩	「夜の雨(病棟にて(一))」		唯一の詩
197	多磨	第57巻第7号	全生互恵会多磨出版部	1976年7月	船城稔美	詩	「足音(病棟にて(二))」		
198	多磨	第57巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1976年9月	船城稔美	詩	「白い恐怖(病棟にて(三))」		唯一の詩
199	多磨	第57巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1976年10月	船城稔美	詩	「とまった時間(病棟にて(四))」		唯一の詩
200	多磨	第58巻第5号	全生互恵会多磨出版部	1977年5月	船城稔美	詩	「焼けない死体」		唯一の詩
201	多磨	第58巻第5号	全生互恵会多磨出版部	1977年5月	船城稔美	詩	「なぜかまともな子が」		唯一の詩／「まとも」に傍点
202	多磨	第58巻第8号	全生互恵会多磨出版部	1977年8月	船城稔美	詩	「崖の上には」		唯一の詩
203	多磨	第58巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1977年9月	船城稔美	詩	「はるかな地平線に」		唯一の詩
204	多磨	第58巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1977年10月	船城稔美	詩	「花々たちはいま」		唯一の詩
205	多磨	第58巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1977年10月	船城稔美	詩	「刻が駆けてゆく」		唯一の詩
206	多磨	第59巻第1号	全生互恵会多磨出版部	1978年1月	船城稔美	詩	「盆踊り」		
207	多磨	第59巻第12号	全生互恵会多磨出版部	1978年12月	船城稔美	詩	「終焉」		唯一の詩
208	多磨	第60巻第5号	全生互恵会多磨出版部	1979年5月	船城稔美	詩	「休校」		
209	多磨	第60巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1979年9月	船城稔美	短歌	(短歌)		多磨全生園創立七十周年記念
210	多磨	第60巻第12号	全生互恵会多磨出版部	1979年12月	船城稔美	詩	「生きている風景」		
211	多磨	第61巻第2号	全生互恵会多磨出版部	1980年2月	船城稔美	詩	「消えるまえの」		唯一の詩
212	多磨	第61巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1980年10月	船城稔美	詩	「大いなるものよ」		唯一の詩
213	多磨	第62巻第1号	全生互恵会多磨出版部	1981年1月	船城稔美	詩	「冷たい季節」		唯一の詩
214	多磨	第62巻第2号	全生互恵会多磨出版部	1981年2月	船城稔美	詩	「信じてはいけない」		唯一の詩
215	多磨	第65巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1984年9月	ふなきとしみ	詩	「やさしい時間(とき)」		唯一の詩。詩集『やさしい時間(トキ)』収録(以下、「トキ」はルビ)／「とき」はルビ
216	多磨	第67巻第1号	全生互恵会多磨出版部	1986年1月	船城稔美	詩	「旅」		唯一の詩。詩集『やさしい時間(トキ)』収録
217	多磨	第67巻第8号	全生互恵会多磨出版部	1986年8月	船城稔美	詩	「あざやかな刻」		詩集『やさしい時間(トキ)』収録
218	多磨	第67巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1986年9月	船城稔美	詩	「廃駅」		
219	多磨	第67巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1986年10月	船城稔美	詩	「天使の伝説」		詩集『やさしい時間(トキ)』収録
220	多磨	第70巻第10号	全生互恵会多磨出版部	1989年10月	船城稔美	詩	「アプローチ」		多磨全生園創立80周年記念文芸募集応募作品。詩集『やさしい時間(トキ)』収録
221	多磨	第71巻第8号	全生互恵会多磨出版部	1990年8月	船城稔美	詩	「旅」		唯一の詩。詩集『やさしい時間(トキ)』収録
222	多磨	第71巻第9号	全生互恵会多磨出版部	1990年9月	船城稔美	詩	「凌霄花(のうぜんかずら)」		唯一の詩。詩集『やさしい時間(トキ)』収録／「のうぜんかずら」はルビ
223	多磨	第77巻第10号~第77巻第12号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1996年10月、11月、12月	船城稔美	詩	「心のこりの詩(うた)」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録／「うた」はルビ

224	多磨	第78巻第1号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年1月	船城稔美	詩	「虹」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
225	多磨	第78巻第2号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年2月	船城稔美	詩	「裸木」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
226	多磨	第78巻第3号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年3月	船城稔美	詩	「暗の向こうに」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
227	多磨	第78巻第4号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年4月	船城稔美	詩	「裸木 (2)」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
228	多磨	第78巻第6号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年6月	船城稔美	詩	「蛇棲む日々」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
229	多磨	第78巻第7号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年7月	船城稔美	詩	「捜しあぐねて」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
230	多磨	第78巻第8号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年8月	船城稔美	詩	「金魚」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
231	多磨	第78巻第9号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年9月	船城稔美	詩	「盲いの犬」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
232	多磨	第78巻第9号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年9月	船城稔美	詩	「三毛のさんちゃん」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
233	多磨	第78巻第10号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年10月	船城稔美	詩	「墮ちる」		詩集『心のこりの詩』収録
234	多磨	第78巻第11号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年11月	船城稔美	詩	「再会（栗生カラオケ結成十五周年記念大会に参加して・・・）」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
235	多磨	第78巻第12号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1997年12月	船城稔美	詩	「涙」		詩集『心のこりの詩』収録
236	多磨	第79巻第1号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年1月	船城稔美	詩	「郷愁」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
237	多磨	第79巻第2号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年2月	船城稔美	詩	「喪失」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
238	多磨	第79巻第3号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年3月	船城稔美	詩	「時間（トキ）流失」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録／「トキ」はルビ
239	多磨	第79巻第4号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年4月	船城稔美	詩	「ゴールの次に」		唯一の詩。詩集『心のこりの詩』収録
240	多磨	第79巻第5号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年5月	船城稔美	詩	「まよい」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
241	多磨	第79巻第6号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年6月	船城稔美	詩	「同級会名簿」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
242	多磨	第79巻第7号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年7月	船城稔美	詩	「足音」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
243	多磨	第79巻第8号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年8月	船城稔美	詩	「北の女（ひと）」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録／「ひと」はルビ
244	多磨	第79巻第9号	全生互恵会多磨全生園入園者自治会	1998年9月	船城稔美	詩	「盛夏」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
245	多磨	第79巻第10号	財団法人全生互恵会	1998年10月	船城稔美	詩	「夏の終わりに」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
246	多磨	第79巻第11号	財団法人全生互恵会	1998年11月	船城稔美	詩	「道」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録
247	多磨	第79巻第12号	財団法人全生互恵会	1998年12月	船城稔美	詩	「炎（も）える」		唯一の詩。詩集『やさしい時間（トキ）』収録／「も」はルビ
248	多磨	第80巻第1号	財団法人全生互恵会	1999年1月	船城稔美	詩	「部屋ふたつ」		唯一の詩
249	多磨	第80巻第2号	財団法人全生互恵会	1999年2月	船城稔美	詩	「あんちゃん」		唯一の詩
250	多磨	第80巻第3号	財団法人全生互恵会	1999年3月	船城稔美	詩	「庭」		唯一の詩
251	多磨	第80巻第4号	財団法人全生互恵会	1999年4月	船城稔美	詩	「予感」		唯一の詩
252	多磨	第80巻第5号	財団法人全生互恵会	1999年5月	船城稔美	詩	「同級生」		唯一の詩
253	多磨	第80巻第6号	財団法人全生互恵会	1999年6月	船城稔美	詩	「春色」		唯一の詩
254	多磨	第80巻第7号	財団法人全生互恵会	1999年7月	船城稔美	詩	「不思議」		唯一の詩
255	多磨	第80巻第8号	財団法人全生互恵会	1999年8月	船城稔美	詩	「おろか者」		
256	多磨	第80巻第9号	財団法人全生互恵会	1999年9月	船城稔美	詩	「老化」		唯一の詩
257	多磨	第80巻第10号	財団法人全生互恵会	1999年10月	船城稔美	詩	「凌霄花」		『多磨』第71巻第9号、1990年9月と同一作
258	多磨	第80巻第10号	財団法人全生互恵会	1999年10月	西敏郎・船城稔美・永井とし子（聞き手・所義治）	座談会	「わが人生と私たちの全生園・全生座の役者たち」		
259	多磨	第80巻第11号	財団法人全生互恵会	1999年11月	船城稔美	詩	「九月になれば」		唯一の詩
260	多磨	第80巻第12号	財団法人全生互恵会	1999年12月	船城稔美	詩	「うつろう時間（とき）」		唯一の詩／「とき」はルビ
261	多磨	第81巻第1号	財団法人全生互恵会	2000年1月	船城稔美	詩	「音」		
262	多磨	第81巻第2号	財団法人全生互恵会	2000年2月	船城稔美	詩	「コ・ガ・ラ・シ」		
263	多磨	第81巻第3号	財団法人全生互恵会	2000年3月	船城稔美	詩	「水音」		
264	多磨	第81巻第4号	財団法人全生互恵会	2000年4月	船城稔美	詩	「視線」		筆頭詩
265	多磨	第81巻第5号	財団法人全生互恵会	2000年5月	船城稔美	詩	「支柱」		筆頭詩
266	多磨	第81巻第6号	財団法人全生互恵会	2000年6月	船城稔美	詩	「季節風ーモンスーン」		筆頭詩
267	多磨	第81巻第7号	財団法人全生互恵会	2000年7月	船城稔美	詩	「古い」		筆頭詩

268	多磨	第81巻第8号	財団法人全生互恵会	2000年8月	船城稔美	詩	「一九三八年」		筆頭詩
269	多磨	第81巻第9号	財団法人全生互恵会	2000年9月	船城稔美	詩	「逝きしものたちへ」		筆頭詩
270	多磨	第81巻第10号	財団法人全生互恵会	2000年10月	船城稔美	詩	「郷愁」		筆頭詩
271	多磨	第81巻第11号	財団法人全生互恵会	2000年11月	船城稔美	詩	「猫」		筆頭詩
272	多磨	第81巻第12号	財団法人全生互恵会	2000年12月	船城稔美	詩	「蠶蛙」		唯一の詩
273	多磨	第82巻第1号	財団法人全生互恵会	2001年1月	船城稔美	詩	「くる冬に」		唯一の詩
274	多磨	第82巻第2号	財団法人全生互恵会	2001年2月	船城稔美	詩	「凧」		筆頭詩
275	多磨	第82巻第3号	財団法人全生互恵会	2001年3月	船城稔美	詩	「遠い日に」		唯一の詩
276	多磨	第82巻第4号	財団法人全生互恵会	2001年4月	船城稔美	詩	「分水嶺」		唯一の詩
277	多磨	第82巻第5号	財団法人全生互恵会	2001年5月	船城稔美	詩	「私の庭」		唯一の詩
278	多磨	第82巻第6号	財団法人全生互恵会	2001年6月	船城稔美	詩	「木々たち」		唯一の詩
279	多磨	第82巻第7号	財団法人全生互恵会	2001年7月	船城稔美	詩	「炎える」		唯一の詩
280	多磨	第82巻第8号	財団法人全生互恵会	2001年8月	船城稔美	詩	「父親」		唯一の詩
281	多磨	第82巻第9号	財団法人全生互恵会	2001年9月	船城稔美	詩	「夏がくると」		唯一の詩
282	多磨	第82巻第10号	財団法人全生互恵会	2001年10月	船城稔美	詩	「殺意」		唯一の詩
283	多磨	第82巻第11号	財団法人全生互恵会	2001年11月	船城稔美	詩	「猫たち」		唯一の詩
284	多磨	第82巻第12号	財団法人全生互恵会	2001年12月	船城稔美	詩	「居場所」		唯一の詩
285	多磨	第83巻第1号	財団法人全生互恵会	2002年1月	船城稔美	詩	「老化」		唯一の詩
286	多磨	第83巻第2号	財団法人全生互恵会	2002年2月	船城稔美	詩	「去りゆくもの」		筆頭詩